



LINEASTORIA

MAGAZINE



.43

2023 SUMMER



New color



新色が3スタイルに登場!

ハイライトカラーで夏っぽさをプラス♡

CONTENTS

03 New Color ハイライトカラー特集

Style Catalog

- 03 天使のベースウィッグ
- 05 天使のミニボブ
- 07 天使のルナミディ

09 Interview

ウィッグは、わたしと咲く。

- EPISODE 036 — ゆきさん
- EPISODE 037 — keyさん

14 SNS 連動企画

LINEA PHOTO



FOLLOW US

最新情報も Check できる♪



@linea-storia



@lineastoria



lineastoria

インスタライブも
定期配信中

モデル着用ウィッグ
/ 天使のミニボブ
ブラックヘーゼルハイライト



LINEASTORIA MAGAZINE は、再生植物油インキを
使用して印刷しております。

ウィッグは、かわいいウソをつく。

みんなの知らないあなたを、ひとつ、つくる。

もっとオシャレをしたいとき。

ウィッグはパッと叶えてくれる。

いつもどおりでいたいとき。

その気持ちにも、寄り添ってくれる。

いつだって、あなたの向かう先へ手を引いてくれる。

おどろくほど、ウィッグは自由で、自在。

私たちは思います。

変わるために、変わらないために、ウィッグはある。

だけでももしもウィッグに何かを変える力があるなら。

やっぱり、ひとのこころだといい。

ウィッグの広げる輝きは、つよくてやさしい。

私たちリネアストリアは、この先も夢中で、
だけどワクワクして、かたちにしていこうと思います。

ウィッグを楽しむひとが、この世界を変えていく。

あなたが、あなたいっぱい、咲きますように。

ウィッグは、ひとと咲く。



LINEASTORIA

お近くの美容室でカットして
理想のスタイルに

color : ダークラテハイライト

Color



- 1.ナチュラルブラック / 2.ダークブラウン / 3.チョコブラウン / 4.ダークブラウン×グレーッシュ /
- 5.ブラックヘーゼルハイライト / 6.ダークラテハイライト / 7.ミルクモカブラウンプリン /
- 8.プラムピンクプリン



ベースウィッグでもハイライトが楽しめる！

天使のベースウィッグ ¥19,980-

Detail

ベースウィッグでもハイライトが楽しめるのでスタイルやアレンジの幅も広がるのが◎絶妙なバランスに入ったハイライトは、抜け感と個性をプラスするのでおすすめです。もちろんロングスタイルのまま着用することもできます♪

Spec 前髪(生え際から):約23cm 前髪(つむじから):約24cm
サイド:約51cm 全長:約57cm



Recommend
Style catalog

2種類のハイライトカラーが登場

“今”おすすめのスタイルをまとめて見られるスタイルカタログ！
カラーバリエーションや、長さの他に
どの顔の形に似合うスタイルなのかも紹介しています。
今回は新色のハイライトが追加される3スタイルをご紹介します♪

color : ブラックヘーゼルハイライト

color : ダークラテハイライト

ハイライトで
生まれるメリハリが◎



Color



1.ナチュラルブラック/2.ダークブラウン/3.チョコブラウン/4.チョコレートッシュ
5.ブラックヘーゼルハイライト/6.ダークラテハイライト/7.ミルクモカラヴプリン/8.ブルームピンクプリン

ハイライトと相性バツグンの「切りっぱなしボブ」

天使のミニボブ

¥16,980-



Detail

女性らしい可愛さのあるミニボブにハイライトが入ることで個性が光るスタイルに!

この長さだからこそ生まれるメリハリが、ハイライトの動きや抜け感を際立たせてくれます。

Spec 前髪(生え際から): 約9.5cm 前髪(つむじから): 約15cm
サイド: 約27cm 全長: 約32cm

Face Type ○ ● ◐ ◑ ◒

ハイライトと相性バツグン
切りっぱなしボブ



color : ブラックヘーゼルハイライト

color : ダークラテハイライト

ハイライトで
立体感をプラス



Color



1.ナチュラルブラウン、2.スノーホワイト、3.ミルキーモカブラウン、4.ブラックヘーゼルハイライト、5.ミルキーモカブラウンプリン

抜け感カールでLadyに仕上がる

天使のルナミディ

¥17,980-



Detail

絶妙なバランスのカール感がレディに仕上げるミディアムスタイル。
おすすめの前髪がトレンド感◎
ナチュラルなスタイルなので、ハイライトをやわらかい印象で取り入れることができます!ハイライト初挑戦の方におすすめ♪

Spec 前髪(生え際から): 約13cm サイド: 約42cm
全長: 約46cm



ハイライトを上品に楽しめる
ミディアムスタイル



color : ブラックヘーゼルハイライト

ウィッグは、わたしと咲く。



着用ウィッグ：トムボーイデイリーショート
着用カラー：ダークブラウン
テキスト：Naito Shiho

病気の発覚

私

が「悪性リンパ腫」と診断されたのは29歳。職場では先輩の立場となり、仕事に責任感を感じ始めた頃。休みの日には旅行をしたり、大好きな甥や姪たちと遊ぶ。そんな充実した日々を過ごしていた頃のことでした。

コロナウィルスが流行り始めた頃、人と話す時咳が出てしまうという症状が続きました。仕事に集中している時は出ないのでも「コロナでないことを証明しよう」とくらくらした気持ちで病院へ行ききました。診断結果は風邪。薬を飲めば治るだろうということ。で、ほっとひと安心。しかし薬を飲んで治らない。だんだん胸がくるしくなってきたのでも「一度病院へ。医師から「すぐに大きい病院を紹介するから行くように」と告げられました。

紹介先の病院での診断結果は「悪性リンパ腫」
血液のがんでした。白血球の中のリンパ球ががん化する病気で。

自分の身に起きていることだと理解することができず「明日の仕事はどうしよう。出勤はできるかな」そんなことを考えていました。治療の説明を受けていてもどこか他人事。

ようやく事の重大さにハッとしたのは「これからの治療は、ドラマで見るようなことが、あなたの身にも起こるからね」と告げられた時。

「まさか私のがんになるなんて」ショックより、驚きのほうが大きかった。

無機質な入院生活

で

されば仕事と治療を両立したい」と医師と相談して通院治療にしてみました。病院まで車で片道1時間。投薬後は体調が優れず運転ができないので、母が送迎をしてくれました。

それでも治療の辛さは想像以上で、吐き気や発熱などの副作用に苦しみました。突然休まなければいけないことが続く日々。「このままだと、まわりの人に迷惑をかけてしまう」と悩んだ結果、休職をして治療に専念することを決断しました。

治療に向き合っていくことと決めたそんな矢先、投薬中に息ができなくなりました。まいったんです。医師から「この薬はあっていないんだね」と入院での治療を余儀なくされる薬への変更を告げられました。そして「3週間入院をして2週間在宅療養。また3週間の入院」こんなサイクルを繰り返すという生活が始まりました。悪性リンパ腫の治療は、感染症を予防することがとても重要です。外界のウィルス感染から守る部屋「クリーンルーム」

へ入院をします。ウィルスを持ち込まないことが徹底され部屋に持つて入れるものは冊の本と携帯のみ、病棟を出る事も許されず、院内のコンビニに行くことさえ叶いません。窓はこども厚くて外の音も一切遮断されています。聞こえる音は、点滴が終わった事を知らせるブザーという機械音と、点滴スタンドをガラガラと転がす音だけ。

無機質な音に囲まれ不安でたまらなく、夜は眠れなかった。睡眠が十分とれなくなると、どんどんマイナス思考になり気持ちが悪くなっていきます。

そして、医師から「治療が今後の妊育性に影響するかもしれない」と告げられました。兄や姉が家庭を築く姿を見て「いつか私も」そう思っていました。人の数だけある価値観の中で、いつしか私の夢になつていったのです。私は「理想の未来」と「クリーンルームにいる今」そのギャップ

に耐えきれなかった。がんが発覚した時 休職を決断した時「なんとか前に進もう」「頑張ろう」と自分を奮い立たせていた。だけど、この時は心は心が追い込まれた時期でした。

小さな幸せ

辛

い治療を乗り越えられたのは家族の存在。特に母の存在が大きかったかな。コロナ禍で直接会うことは出来ないけれども、週末には病院の前まで甥や姪たちを連れて来てくれるんです。「着いたよ」と電話をもらって窓の外を見ると、クリーンルームにいる私に「わっっっ」と手を振ってくれて嬉しかったな。電話越しに伝わる家族の優しさに、本当に元気をもらいました。

「コロナ禍で広まった、日本中が画面越しに会うことを余儀なくされた日常は、私にと



ては病室と外の世界を繋ぐ架け橋となりました。画面に映る友人たちとの他愛ない話や、「一緒にご飯を食べたり。治療の影響で髪がなくなった私を見てもいつも通りに過ごしてくれた友人たち。日常に戻れたようでした。

私の無機質な生活に、大切な人たちが幾度も彩りを与えてくれました。

そうして入院治療から、在宅治療に切り替わる時、季節の移り変わりに小さな幸せを感じるんです。ミンミンと鳴く、蝉の声を聞くだけで自然と笑顔になつてしまうくらい。

自宅に帰ると、母が台所に立ってご飯を作る音が聞こえる。やっぱり母が作るご飯が一番！笑見えるもの、聞こえる音。すべて

がキラキラしている。病気を患う前には、当たり前と感じていた私の日常が、こんなにも素敵なものに溢れていたんだと、
日常に散りはめられていた、小さな幸せに気付いた時、ゆっくりに、心が元気になつていくのを感じました。

「今」という時間

今

も完治はしていきなくて経過観察中。治療始めた頃は、とりまく環境が結婚、妊娠、出産と変化をしていく中で、取り残された気になってしまつて。周り比べて、自分自身を責めてばかりだった。だけど、一人ひとりの生きていく背景は違つていて「比べる必要はないのではないか」私らしく前に進めたいのには、
ようやく「今を大切にしたい」そう思えるようになりました。

たとえ未来を描いたとしても、自分ではどうにもできないことはある。きつと、私の「悪性リンパ腫」という病気もそのひとつなのかな。「未来」を知ることができないのであれば「今」を大切に生きよう。

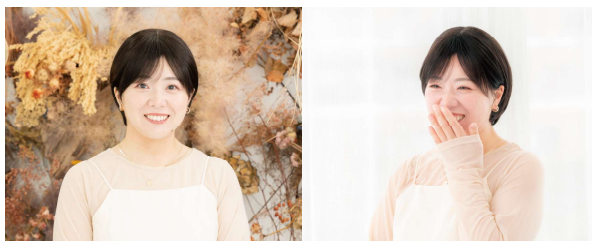
支えてくれる家族や友達がいること、甥や姪が笑顔で過ごしていること。そして、私がか今ここに存在すること。「今」この瞬間が、愛おしい。

私と同じ世代の方がいたら、必要以上に落ち込まないでほしい。自分を責めないで。どうか全てが終わつたなんて思わないで。そして何より、私が今ここに生きていることを両親に感謝をしたい。

直接伝えようと思つたけれど、涙が出て言えなかつたので「ありがとう」と心から伝えたい。

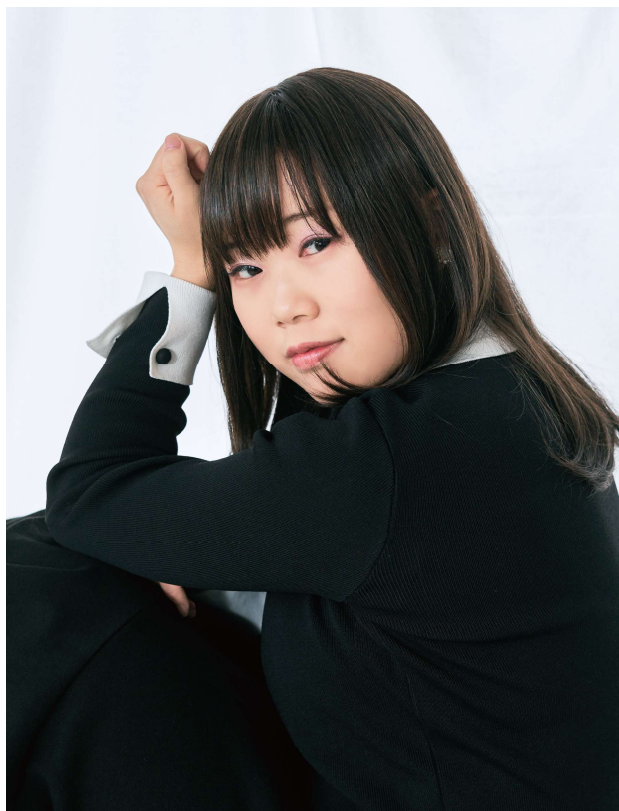
ゆき

コロナ禍で悪性リンパ腫と診断される。仕事と治療の両立を目指し通院治療を始めるも副作用により休職をする。その後、制限の多い入院治療を乗り越え現在は経過観察中。インタビューを機に、家族の存在で治療を乗り越えることができた感謝の気持ちを伝える。



「今」この瞬間が、愛おしい。

ウィッグは、わたしと咲く。



着用ウィッグ：リラックスウィッグ_ミディ
着用カラー：リッチダークブラウン
テキスト：Tatsuoka Yuki



助産師という夢

人 生には願はずきと叶つくと望みもしないのやってくるけど、そんな一瞬があるような気がします。私にとって望みもしないのやってくるけど、それは脱毛症、願って努力の上に叶えられたこと、それは助産師になること、夢。

助産師って読んで字のごとく「お産を助ける」人のことです。日本で唯女性にしか出来ない職業なんです。出産のサポートはもちろん、妊娠中、更年期や婦人科系の病気など女性の一生を支える仕事なんです。中学生の時にやりたいと願い、そして私が夢を叶える3年が経ちました。

幼少期から脱毛症に

私 が脱毛症になったのは幼稚園の年長の時でした。幼稚園にはパンダナを着けて通っていました。小学生になり一度髪の毛が生えそろうたものの、3年生の時に再発。はじめは円形に抜けた部分の髪の毛をくくって隠していました。でも走ったりすると見えてしまつて、それを見つけた友だちから「見せて」と言われたり、からかわれるのは辛かったな。そんなこともストレスになつてしまつたのか、また全部抜けてしまいました。前回のようにパンダナで過ごすには難しい年齢にさしかかっていたこともあり、母が「ウィッグを買いに行こう」と大型スーパーに連れて行つてくれました。

その頃はまだ、医療用ウィッグが一般的ではない時代。お店に並んでいるのはミゼス用のショートウィッグばかり。いわゆる

ポリウレタンアップに使用されるクリップで留めるタイプのもの。地毛がない私には着けられない。それでも私にはどうしてもウィッグが必要だった。脱毛症の私には選択肢はないんだ、幼心にそう思ったことを覚えています。

母と相談し、文房具用の両面テープを頭皮に貼って固定するのになりました。そしてなんと、か曰帯は通さざるようになつたけれど、5年間続いていたチアリーディングはやめなければならなかった。チアリーディングに不可欠なボニータールができないから。脱毛症の私は諦めざるを得ない、自分にそう言い聞かせました。

青天の霹靂

ウ イッグでの学校生活に慣れたころ、ある事件が起こりました。アイマスクを使って視覚障害がある方の世界を体験する授業がありました。普段の教室で行う授業と違うこともありみんなワクワクしていました。私の体験が終わり後ろ



夢を叶えるために

私 は脱毛症の他に、喘息やアトピーもあつたので、小児科へかかる機会が人より多かつたように思います。やさしく寄り添ってくれる看護師さんに憧れて、「いつか私もそんな風になりたい」と思うようになつていきました。

中学生くらいになつてくると小児科に来ている子たちが自分より小さい子ばかりになるんです。時には生後数か月の赤ちゃんと出会うことも。「かわいいな」と見ていると、母から「赤ちゃんが好きなら助産師という仕事もあるよ」と教えてもらつたんです。母のその言葉を足がかりに私の夢が形作られて行つたように思います。それでも高校生の時に進路で悩んだこともありましたが、その時に友だちが言ってくれた「トキにお産を取ってもらいたいな」とこの言葉が私を助産師の道へ導いてくれました。

助産師になるには看護師資格も必要にな

ります。つまり「看護師」「助産師」と2つの国家資格に合格しなければいけないんです。看護師資格をとってから翌年以降に助産師資格を取る方が多い中、私はどうしても助産師として世に出たかった。そのため、学部内の助産師コース選抜試験を受け、看護と助産の勉強を平行して行い、2つの国家資格の勉強と実習をこなしました。そして看護実習の合間を縫って、助産師実習に参加しました。お産実習はいつ呼び出しがあるかわからないので24時間待機姿勢で待たなければならず数ヶ月にわたる実習先近くのホテルで生活をしました。日中は看護実習でくたくたになり、ホテルへ戻つて試験勉強。お産が始まつたと連絡を受け、夜中3時にタクシーでかけつけることも。

助 産師として過ごす日々は緊張の連続です。赤ちゃんの心音や母体の子宮収縮状態など、些細な変化も見落とすわけにはいきません。日本は世界で一番安全にお産ができる国と言われています。それでも母も子も命をかけて行つお産。何度立ち会っても無事に生まれてこられることは奇跡なんだと、そう思います。

新たな挑戦

「何が起つてしまつたらんだろう」「明日からはもう学校にこれないかもしれない」色んな思いが駆け巡り涙が止まりませんでした。泣いて泣いてそうしているうちにふと思つたんです。「アイマスクをひっぱつたあの子はどう思っているんだろう」と。「自分のせいで、自分が勢いよくひっぱつてしまったから。」そんな風に考えて落ち込んでいたのかな？責任を感じてみんなの前で泣いてしまつていたのでは？

その思いは私をさらに不安にさせました。彼女のことをどうしても気になり、勇気を出して教室に戻りました。案の定、彼女は動揺した表情で席に座っていました。私を見つけるとそばにきて何度も何度も謝るのです。

「悪くないよ、仕方のないことだし」と返事をするので精一杯、どう答えていいのかわかりませんでした。起きたことを受け止めることができず、心と頭が追いつかなかつた。「誰にもどうにもできないことがある」私の心に大きく刻まれました。

自分のやりたいことに猪突猛進



そして私は、2023年5月から日本最南端の産院で働きます（※2023年2月当時）。大学の頃からの夢だった離島医療を実現するために。今まで働いていた病院は助産師が30〜40人いたけれど、次の病院では3人しかいません。現場での判断など、今まで以上の責任の重さにハラハラもしますが、新しい環境にワクワクの方が大きいかな。人生には変えられないこともある。だからこそ願つて努力して叶えられることは最大限に楽しみたい。自分のやりたいことに猪突猛進。一度きりの人生、全力で進んで行きたいなと思います。

key

Instagram: @pokkaremon29

幼稚園の時に脱毛症を発症。その後、完治するも小学3年生で再発。中学時代から目標にしていた「看護師」と「助産師」の資格を取得。2023年5月から離島医療の実現のために日本最南端の産院で活躍。

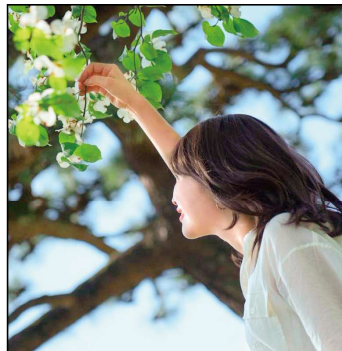


▽ 菜の花とインナーカラー



はな
(Instagram : boojack848)

▽ 新緑と



moa
(Instagram : i_moa210)

▽ 結婚式セルフアレンジ



SAKO_97
(Instagram : sko_wig)

▽ 次男くんの卒業式にワクワク



akane
(Instagram : madder.red_akane)

▽ 幻想的な横顔



kurumi
(Instagram : u_u.kurumi)

▽ シナモンロール



4 ツキ
(Twitter : @fujiwaramai_)



LINEASTORIA MAGAZINEで掲載している

『ウィッグは、ひとと咲く。』のインタビュー記事の内容を
公式サイトでも公開しております。

LINEASTORIA MAGAZINEで見逃した方は、ぜひご覧ください。

Check!!

「ウィッグは、わたしと咲く。」はこちら ▶

<https://ilovewig.jp/interview>



Photo Posted

Instagram / Twitter 連動企画♥

募集要項

参加方法 / ハッシュタグ『#リネアフォト』を付けて Instagram や Twitter へ投稿するだけ！
お気に入りのウィッグを着用してぜひ投稿してください！

ご注意 / 弊社提供サービスにて投稿写真を使用いたします。著作権はリネアストリアへ帰属となりますのであらかじめご了承ください。

Twitter : lineastoria

Instagram : lineastoria

Interview

ウィッグを日常的に着用されている方へのインタビュー企画

募集要項

対象 / ・お住まいの都道府県は問わずご応募お待ちしております。
・誌面での顔出しOKな方
(誌面上ではニックネームでOK！)
・18才以上の方。

ご注意 / ※コロナウイルスの影響によりリモートでの取材とさせていただきます。
※写真撮影は、お住まいの都道府県のスタジオにて派遣カメラマンが行う場合がございます。
※将来的に出版される可能性があります。
※著作権はリネアストリアに帰属します。

応募方法

・名前(実名)/ニックネーム/電話番号/性別/年齢/お住まいの地域/ウィッグ用途/SNSアカウント/ご都合の良い曜日を入力の上、『バストアップの写真』を添えて「info@linea-storia.com」までお願いいたします。弊社より3営業日以内にメールにてご連絡申し上げます。
・応募の際の件名は『インタビュー応募』と必ず記載ください。
・迷惑メール設定等をされている場合、メールが届かない場合がございます。お手数ではございますが、「info@linea-storia.com」の受信設定をお願いいたします。

